

機長		O P		機内補助者
ボイス	活動要領 (注意事項)	手信号【合図】	ボイス・指示内容	
「了解」	地上隊員のワイヤーの影 余長に注意 (風等の影 響を受ける場合は、予 めOPに余長を取るよ う指示する。)		「Rまもなくフックキヤ ッチ、Rフック掴んだ、停止」R フックキヤッチ後、ホイストワ イヤーの余長を機内補助に渡 し、地上作業状況をボイス。 「R作業中」	R1からフックを 受け取った後、 自己スリングのカ ラビナとEVスリ ングのカラビナに フックを掛ける。 (フックのロック 及び要救助者の持 ち手確認) 確認後R1に対し 【OKサイン】 R1の 【OKサイン】 確認後、OPに対 し 【OKサイン】 PU時 ・ヘリを注視する ・要救助者の状態 を注視する
「了解」			「作業完了、OKサイン巻き上 げ テンション・・・PU・・・ 中間地点・・・スキッド下5・ 4・3・2・1mRスキッドに 手を着いた。正対スキッドク リ ア」 「OPは機内へ」	Rがステップ上に立て ば、キヤビン中央部の2 mスリングにてRのカラ ビナとEVのカラビナに 対して確保をとる。 Rに機内進入用引綱を差 し出し、要救助者を確保 し、Rの【よし】により 機内収容する。
「了解」			Rの合図により 「機内収容」	補助者から差し出 された引綱を持 ち、【よし】 機内へ引き込ま れる要救助者を 介添えして機内に 入る。 OPの合図によ りカラビナを保持 し、フックの離脱 準備をする。
「了解、ホイスト 電源OFF」			Rのカラビナ保持確認後、ホイ ストフックを離脱する。 「ホイストフック収納」 「ドアクローズ」 「ホイスト電源OFF」 「ランプ確認」	OPの合図によりドアク ローズ 【ロックよし】
「了解」			「訓練終了、現場離脱」	